

A：達成している(80%以上) B：概ね達成している(70%以上) C：あまり達成していない(50%以上) D：達成していない(50%未満)

評価項目		評価	今後の改善について	自己評価の妥当性 (学校関係者評価の意見等)	
園 運 営	1 保護者や外部に教育方針や活動内容をわかりやすく伝えている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスが5類となり保護者の方などに来ただけで園児や園増やすことができた実際に園児や園の状況を地元の交流は園側から発信できるようにはいきたくない。 ・災害の避難訓練や防犯訓練を行ない、感染予防の振り返りをすることや感染症対策や健康管理を保護者の協力もいれたきながらい、安心・安全な園運営を目指したい。 ・様々な職種を超えてこども園の子どもの生活や成長にかかわる全職員の意識を高め、全職員でよりよい保育をめざしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観も増え、子ども達の様子が見れてよかった。 ・毎月のお便りやドキュメンテーションを見させてもらって園の様子はよくわかりました。それと同時に、お便りを作られる先生方が大変だろうなと思いました。 ・職員多忙については、改善が必要ではないかと感じる。
	2 保護者参観・行事・面談・園だより等開かれた園づくりをしている	A			
	3 PTAや地域との連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいる	A			
	4 園児の健康の把握や健康管理等適切な指導や対応ができています	A			
	5 防災・不審者の危機管理等、安全指導に努めている	A			
	6 園内の環境美化に努め、施設・設備等の安全管理を適切に行っている	A			
	7 園運営に教職員の意見が反映されている	A			
	8 教職員の資質能力を高めるための研修を十分に行っている	B			
教 育 課 程	1 教育目標が自園の実態を把握し、園児や保護者のニーズにあった内容である	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流は積極的にできなかつたが、地域へ出かける機会をもつた。学年の枠にとられず、異年齢で活動する意義も職員同士の間で共有し、理解が大切であることを認識した。今後、様々な活動を通して地域、子ども同士のかかわりが深まるよう教育課程に位置付けて実践していきたい。 ・教育課程の見直しを行い次年度に活かせるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりがもう少しもてたらと思った。 ・小学校との連携は今後もお願いしたい。 ・地域の方を食育の講師としてお願いしてもよいのではと思う。
	2 園児の発達に即し、遊びを中心とした体験的な教育に取り組んでいる	A			
	3 生きる力の基礎を身につける指導・工夫をしている	A			
	4 心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や工夫をしている	A			
	5 地域を活かした特色ある教育活動を行っている	B			
	6 幼(保)・小・地域等との交流や連携を行い、保育・教育活動に活かしている	B			
	7 指導計画・行事の作成にあたっては教職員で話し合っている	B			
保 育 活 動	1 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に関心をもてるよう工夫している	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が興味や関心を受けとめ、毎日の生活の中で実現できるよう保育内容を工夫したい。 ・人とかかわる力、自身をつけたい力、人とか乳幼児に身をつけない力を、機会を逃さず教育・保育活動の中に取り入れていきたい。 ・野菜栽培等を始めとして、実際に自分達で体験をして学ぶ機会を活動の中に取り入れて生活経験を豊かにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育活動を通して野菜の育て方など話をしてくれるので、びっくりすることがある。 ・コロナ禍のマスク使用の為か園児の表情が乏しいと感じる。表現力や伝える力にも繋がっているのではないかと思うので、保育の中で少し留意できたらと思う。
	2 園児一人一人の発達を明確にし、共に育ち合える保育になっている	A			
	3 生命を大切にす心や、規範意識が芽生えるよう指導している	A			
	4 自分の思いを言葉等で伝え、相手の思いに気づく力や、伝え合う喜びを培っている	B			
	5 健康・安全に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる	A			